

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587018901	科目番号 / Subject code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (地域の環境を考える) / Community and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 梅津 千恵子 / Umetsu Chieko, 中村 修 / Nakamura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 中村 修 / Nakamura Osamu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見 : fukami@nagasaki-u.ac.jp 中村 : osamu.nakamura@nifty.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	深見 : 環境科学部4階・環438教員室 中村 : 環境科学部4階・環407教員室		
担当教員TEL/Tel	深見 : 095-819-2720 中村 : 095-819-2727		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見 : 木曜日5時間目 中村 : 火曜日5時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境問題は、人間や自然の相互作用により複雑多様化しています。その対応策として、地域に共通する法則性や特殊性 (=地域特性) に注目した、持続可能な地域づくりのあり方が重要です。それらのなかに、環境に配慮した「ツーリズム」や「循環型社会」構築の取り組みがあり、近年特に注目を集めています。 そこで本講義では、「ツーリズム」と「循環型社会」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な題材や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Goal	1. 地域の環境問題を考える上で、観光が果たす役割について説明できる。 2. 「ツーリズム」や「循環型社会」構築をとらえる地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3. 持続可能な地域づくりのあり方について、具体的な提言ができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	新聞記事等の配布資料を中心として、視聴覚機器 (パワーポイントやDVD) を用いながら進めていきます。また、レスポンス用紙の記入・提出や授業中の発表・報告をしてもらいながら、質疑応答の機会を多く準備し、講義の理解促進を図ります。		
授業内容/Class outline/Con	・深見担当 地域の環境問題の解決につながるツーリズムとはどのような形態のものなのか。具体的にはエコツーリズムや世界遺産、アイランド・ツーリズムの事例を紹介し、持続可能な地域づくりの理念と現実の乖離を埋めていく方途について、ともに考えていく。毎回、レスポンス用紙を記入してもらい、次回の講義内容にフィードバックする予定である。 ・中村担当 「経済成長」とは、どういうことなのか。いつまで、どこまで成長できるのか。フラスコの中のミジンコからはじまって、地球上の人間の具体的な持続型社会、持続的経済について話題を提供する。なお、講義中は学生に質問をし、その答え、考え方に対して、さらに質問をするという形式ですめる。		
キーワード/Key word	地域の視点、ツーリズムの多義性、島嶼、循環型社会、生ごみ資源化、域内乗数効果		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 : 使用しない。 教材 : 適宜プリント等を配布する。 参考書 : 深見聡 『ジオツーリズムとエコツーリズム』 (古今書院、2014年) 中村修・遠藤はる奈 『成功する生ごみ資源化』 (農山漁村文化協会、2011年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レスポンス用紙の記入状況50%、授業中の発表・報告50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外学習として週平均2時間の確保を求めます。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	現場を知ること、既存の研究を学ぶことなどを通して、世の中を見る目、各自の地域の環境を見つける視点の伸長を目指します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回(4月7日)	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化
第 2 回(4月7日)	II. 地域環境と「ツーリズム」 エコツーリズム
第 3 回(4月14日)	世界自然遺産 屋久島
第 4 回(4月14日)	世界文化遺産 明治日本の産業革命遺産
第 5 回(4月21日)	アイランド・ツーリズム(1) 五島列島・小値賀島
第 6 回(4月21日)	アイランド・ツーリズム(2) 三島村・鬼界カルデラジオパーク
第 7 回(4月28日)	地域環境とツーリズムの最前線(1) 30年後のフクイチ観光地化計画
第 8 回(4月28日)	地域環境とツーリズムの最前線(2) 災害復興への貢献
第 9 回(5月12日)	III. 地域の環境と「循環型社会」 地域の環境と「循環型社会」 プラスコのなかのミジンコと持続的社會
第10回(5月12日)	山の上でなぜ木が育っているのか 循環の仕組み
第11回(5月19日)	大木町の資源循環の取り組み
第12回(5月19日)	循環に取り組めない自治体の現状
第13回(5月26日)	タイ農村部での循環の取り組みと100年の森構想
第14回(5月26日)	域内乗数効果と仕事のあり方
第15回(6月2日)	地域に仕事をつくりだす
第16回(6月2日)	まとめ

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2016/06/09 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587047301	科目番号 / Subject code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (資源管理論) / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 梅津 千恵子 / Umetsu Chieko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 梅津 千恵子 / Umetsu Chieko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	濱崎宏則 h-hamasaki@nagasaki-u.ac.jp 梅津千恵子 umetsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環4 4 9 (濱崎) 環4 5 1 (梅津)		
担当教員TEL/Tel	2742 (濱崎); 2724 (梅津)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木15:00-17:00 (梅津) 月14:00-17:00 (濱崎)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	土地資源、水資源、森林資源、水産資源、エネルギー資源等さまざまな資源を持つ特質を理解し、 資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について実例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Goal	さまざまな資源を持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみについて学ぶことが できる。資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法について理解できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	前半では実例を挙げながらグラフを使ったマイクロ経済学的アプローチにより講義する。後半では、 グローバル化が進む国際社会の意思決定プロセスについて基礎的な講義を行うとともに、アクティ ブ・ラーニングの一環として、ロールプレイングやグループによるプレゼンテーションを取り入れ る。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資源経済学の課題 2. 環境資源と開発の経済学 3. 環境資源政策の目標・手段・主体 4. 地球環境資源と経済 5. コモンズと地域共有資源 6. 資源経済学と地球環境問題－貧困と環境の関連 7. 持続可能な発展への課題 8. 後半イントロダクション：グローバル社会と資源の争奪戦，管理の行方 9. 水資源の管理と国際関係 - 弱い国際規範，強い地政学的条件 10. 水資源の管理と責任の所在 - 流域界の規模と管轄，主体の役割を考える 11. 水資源の管理と責任の所在 - 流域界の規模と管轄，主体の役割を考える 12. 水と森林，土地の統合的管理 - 外国資本による水源涵養林買収事例から 13. 水，食料，エネルギー連関から資源管理・利用を考える 14. 小括：グローバル社会における資源管理の枠組を考える 15. まとめ 16. 試験 		
キーワード/Key word	グローバル社会，資源管理，意思決定，資源の希少性，コモンズ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	前半 (梅津担当) 植田和弘著 「環境経済学」 岩波書店 2011年 後半 (濱崎担当) 特に教科書は指定せず，教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献 は毎回の授業で紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業後のレスポンスシート (20%)，グループ発表 (20%)，期末テスト (60%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587049501	科目番号 / Subject code	05870495
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境と社会の共生 (廃棄物の管理と処理) / Management of waste		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 梅津 千恵子 / Umetsu Chieko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	juniper@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物のマネー ジメントに関する知識と理解を深める.		
授業到達目標 / Goal	学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物のマネジメントについて考察する力 を身につけることができる.		
授業方法 (学習指導法) / Method	学内における「ごみ」の実態調査, 分析から現状の問題点を抽出し, 解決方法を提案する.		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画にあるとおり, 座学は最初の3コマのみで, 以降は, 居住地のごみの分別方法, 日本の廃棄 物処理に関する統計データ, さらに大学内のごみ分別状況を調査・分析する. そこから, それぞ れが抱える課題を抽出し, その解決のための手法を議論する.		
キーワード / Key word	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない. 資料は適宜提示する.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする.		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます. 授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい. アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと. 実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義にも及ぶことを念頭 に入れておいてください.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明		
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明		
第3回	課題解決の方法		
第4回	課題解決の方法		
第5回	居住地域のごみ分別方法について調査する		
第6回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析し, 「ごみを分別すること」について考察する		
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する		
第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する		
第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する		
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う		
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する		
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う		

第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する。
第16回	【総括】 一連の過程を振り返り、改善点等について議論する。